



## 夢と希望をもって輝きながら…

日向市立東郷学園 校長 **高岡 壯至**

「夢と希望をもって輝きながら共に伸びゆく子どもの育成」このキャリア教育の重要性を感じることでできる目標が、本校の教育目標です。

本校では、キャリア教育を推進するために、毎年多くの「よのなか先生」においでいただいています。キャリア教育の推進においては体験活動も大切ですが、社会的・職業的自立に向けた学習が重要だと考えます。そのような意味でも、“よのなか先生”の仕事にかける熱い想いや御自身の生き様など、子どもたちへの想いのこもった言葉が何よりの生きた教材です。

この想いを受け“よのなか先生”と同様に、社会貢献と自分の生きがいを求めて、一生涯を夢と希望をもって輝ける大人になってくれることを期待しています。



## ふるさと教育に生かす「よのなか教室」

日向市立坪谷小学校 校長 **樋口 雅一**

本校では、若山牧水の母校という特色を生かし、目標をしっかり持って夢や希望の実現に向けて努力する力を育てる「あくがれ」の教育と、地域の人・自然・文化とのふれあいを通して豊かな心を育てる「ふれあい」の教育を進めています。特に「ふれあい」の教育では、地域の人材を活用した体験活動や交流活動を通して、ふるさとを愛する心が育っています。学校外の活動でも、農業体験隊や伝統芸能保存会、地区行事等への参加など、学習の場が多く、「坪谷の大人は、みな子どもたちの先生」といったところですが、子どもたちに身に付けたい力を考える時、キャリア教育の必要性を感じます。今後は、本校なりの「よのなか教室」の効果的な活用を図っていこうと思います。



## 幅広く…

日向市立寺迫小学校 校長 **津島 弘旦**

小学校時代「将来の夢」という宿題が出ました。悩んでいると母が「自分のことばかりじゃダメよ。他人のためにならんと。」と。「じゃあお医者さんと書く。」と言うと母は喜びました。人のためになる仕事は医者しか知らなかったのです。結局、ずっと目の前にいて見続けてきた教師になりました。間違っていたとは思いませんが、職業選択の幅が狭かったかなと思います。

職業選択が最終目的ではありません。人間としてどう生きるかだろうと思います。目の前の子どもたちが社会生活の中で、一日一日を精一杯活動し、より充実した人生を送るか。そのために我々が小学校段階でしてあげられることは何か。本校は、この夏、全職員で幅広く知恵を出し合い、キャリア教育全体計画を改定する予定です。



## 「よのなか教室」を通して学力向上&未来づくり

日向市教育委員会学校教育課 指導主事 **岩原 教昌**

「何のために学習するの?」「どうして勉強しなければいけないの?」……子どもたちはこのような疑問をもっています。そして、子どもたちからそういう疑問を投げかけられた先生方や保護者の方々も少なくはないのではないのでしょうか?このような子どもたちの疑問を解決していく上で、「よのなか先生」が本気で語る「よのなか教室」の実施はとても有効です。「よのなか教室」を通して、今学校の授業で学んでいることや、各学校で先生方が普段から指導されていることが、日常生活や社会生活の中で生かされていると実感できたとき、子どもたちの学ぶ意欲が向上し、学ぶ意味を実感できるのではないのでしょうか?ひいては確かな学力が身に付き、将来に向けての見通しが立つことにつながるのではないかと考えます。今後とも、日向市の子どもたちの明るい未来のためにも、ともにがんばっていきましょう。



